



雪上レクリエーション大会（2月16日）

主な内容

- 大島町に義援金をお届けしました …… ②
- 交通事故・火災・救急の記録 …… ③④
- 歯の健康・総体の結果 …… ⑤
- 加茂市職員給与のあらまし …… ⑥⑦
- 加茂の風土記「加茂の学塾師匠たち」… ⑧

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院をもり立てましょう
 「美人の湯」も加茂市の宝 美人の湯をよろしく願ひいたします

友好都市・大島町に義援金をお届けしました



市民からの義援金と加茂市のお見舞い金
8,791,656円を大島町へ



大島町役場で義援金を贈呈

一月二十六日(日)に小池清彦加茂市長が大島町役場を訪れ、川島理史(かわしままさふみ)町長へ、加茂市民の皆様から集まった義援金をお届けしました。

昨年十月十六日に発生した台風二十六号による土砂災害による被害に、市民の皆様から届けられた義援金、各種団体・企業などからの義援金、市内公共施設での募金箱募金六百七十九万六千五百六十六円と加茂市からの御見舞い金二百六十九万八千六百六十九円、合わせて八百七十九万六千六百六十九円の目録を川島町長へ小池市長が手渡しました。また、十二



川島町長が被災現場を説明

月には、加茂市の特産品ルレクチエ百二十箱が大島町に贈られ、被災者の皆様に届けられました。

川島町長からは、長年交流を深めてきた加茂の皆様へ、御礼と被災された方々の復興に役立てるとの感謝の言葉をいただきました。

例年この時期は、大島椿まつりの開会セレモニーとパレードなどが行われますが、今年は開会式のみで開催でした。この開会式には、小池清彦市長、安田憲喜市議会議長、ミス雪椿など十名が加茂市から参加し、加茂の雪椿まつりでの再会を約束してまいりました。

平成25年 交通事故 火災・救急 の 記録

加茂市で起こった昨年一年間の交通事故・火災・救急の記録がまとまりました。昨年は、建物の複数棟類焼する大規模火災などがあり、火災が十件と前年から倍増しました。交通事故では、死亡事故が二件あり、負傷者も前年より増加しています。普段から、交通安全、火の取り扱いの注意をお願いします。

交通事故

平成二十五年に加茂市内で発生した交通事故は五百八十件ありました。物損事故（けがを伴わない事故）四百七十五件、人身事故（けがを伴う事故）百五件、傷者数百二十六人でした。平成二十四年と比べると物損事故件数は減少しましたが、人身事故件数及び傷者数はいずれも増加しました。また、死亡交通事故は二件発生しました。

高齢者の交通事故防止

県内の交通事故死者数は近年減少傾向にあり、六十五歳以上の高

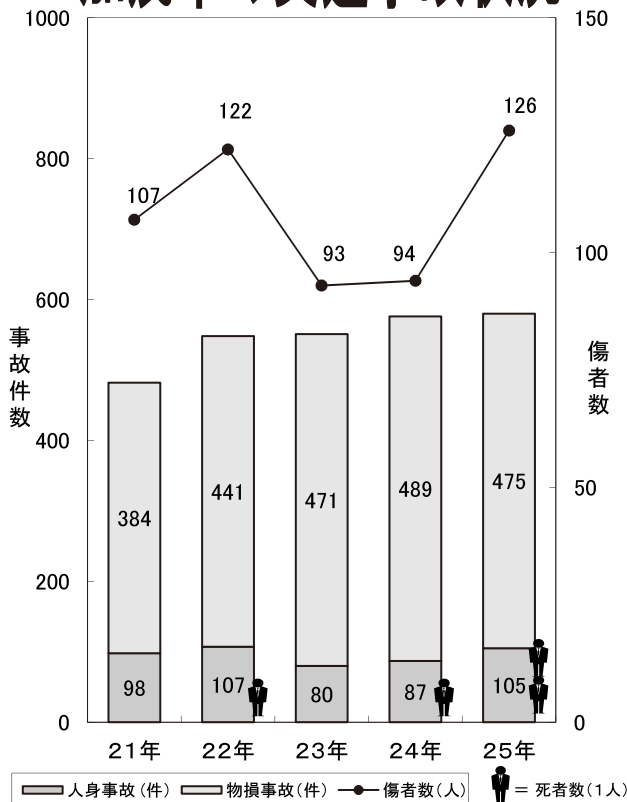
齢者の死者数も減少しているものの、その減少率は他の年齢層と比較して少なく、全体に占める高齢者の割合は十年連続で五割を超えています。

高齢者の交通事故は

- ①夕暮れ時から夜間にかけて、
 - ②自宅の近くで、
 - ③道路横断中に、
- 多く発生しています。

道路を横断する時はなるべく見通しのよい場所を横断するようにし、車の通りが少なくても左右の安全を十分確認し、近づく車が見えたら、無理に渡らず、通り過ぎるのを待ちましょう。また、渡りながらも左右を確認しましょう。

加茂市の交通事故状況



夜間に外出する時は、明るい服装と夜光反射材を身につけ、自分の存在を周囲に知らせましょう。

横断歩行者の保護

平成二十五年中、新潟県内では道路横断中の歩行者が二十九人亡くなっており、全死者数の約二七%を占めました。

ドライバーは、横断歩道の手前では減速して横断歩行者に備え、横断歩行者がいる時は一時停止して、歩行者の横断を妨げはなりません。また、横断歩道のない交差点やその近くを歩行者が横断しているときも、その横断を妨げ



交通事故なしキャンペーンで交通安全をPR

**110番・119番は
緊急通報専用電話です**

110（事件・事故）119（火災・救急）は、
緊急時のための電話番号です。
火災発生場所を知りたいときは、電話52-1233
（テレガイド）でお知らせします。



文化財防火デーでの放水訓練

はなりません。
新学期は道路の横断に慣れない
新入学生など小さな子どもが多く
見かけられます。横断歩道等では
歩行者が優先であることを再確認
しましょう。

火災

加茂市における平成二十五年中
の火災は十件で、前年に比べると
五件の増加となりました。火災件
数の内訳は、「建物火災」が六件
ですが、大規模火災があり十三棟
が全焼しています。

たき火の拡大で枯れ草などを焼
いた「その他火災」が三件、「車
両火災」が一件でした。

火災は、さまざまな原因でも起こ
ります。ひとたび発生すれば、大
切な財産を焼き尽くし、場合によ
っては命をも奪いとってしまいま
す。火災から大切なものを守るた
めに、火の元には十分注意し、火
の用心をお願いします。

平成25年の火災発生状況

区分	平成24年	平成25年
出火件数	5件	10件
建物火災	1件	6件
全焼	0棟	13棟
損害額(万円)	339	15,468
人的被害 死者	0名	0名
負傷者	0名	1名

※H25.12.29 上条地内の火災の損害額は、
未算入です。

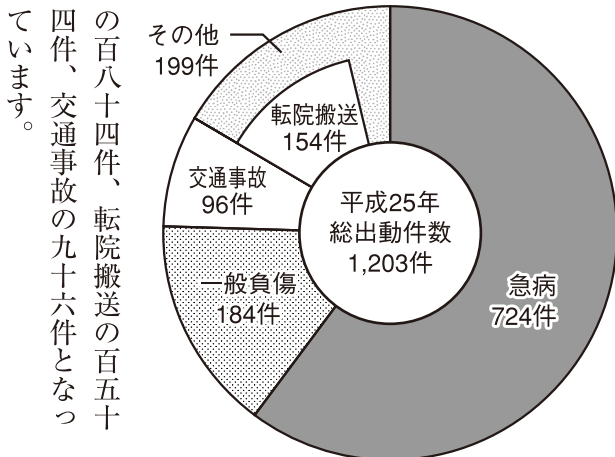
救急



消防出初式（一斉放水）

平成二十五年中、加茂市では千
二百三件の救急出動があり、千九
十六人の傷病者が医療機関へと搬
送されました。前年に比べると出
動件数で十件の増加、搬送人員で
十三人の減少となりました。
出動件数を一日当たりの平均で
表わすと約三・〇件で、約八時間
に一回の割合で出動していること
になり、加茂市民の三十人に一人
が救急搬送されたこととなります。
事故種別では、急病が七百二十
四件と最も多く、次いで一般負傷

平成25年救急出動の状況



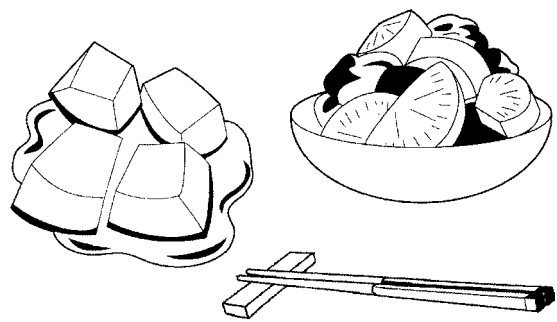
春季消防演習（救助訓練）



かみ応えのある食べ物と、 硬い食べ物

乳幼児期は、「よく噛んで食べることを」を指導しますが、かみ応えのある食べ物を食べさせることは、「硬い食べ物を食べさせること」とだと思っっているお母さんは少なくありません。奥歯が生えてくる途中は、しっかりと噛むことはできません。ましてや硬い食べ物（例えば挽肉^{ひき肉}など）を食べさせようとしても、逆によく噛まずに飲み込んだり、口から出して食べてくれなかつたりします。

かみ応えのある食べ物を食べることは、「よく噛んで、味わって食べることを身につけること」につながります。野菜の煮物では、食材の切り方を工夫してあげると、「かみ応え」が生まれます。少し大きめに切つてあげるとすぐには飲み込めず、口の中でだ液と混ぜて飲み込むようになりますので、必然的に噛む回数が増えます。



硬さは「指で押しつぶせるよりは少し固め」ぐらいを目安に調理してあげてください。奥歯が生えそろったら、大人の食事より少し柔らかめを目安としてください。よく噛んで食べると、五感で味わうことを体験することになるので、噛むという機能の発達だけでなく、心の育ちにもつながります。離乳は生涯にわたつて質の高い生活を送ることの第一歩です。お母さん大変でしょうけどがんばってください。

(加茂市歯科医師会)

総体結果



スキー競技

期日 二月二日

会場 冬鳥越スキーガーデン

【回転】

- ▼小学生男子の部①矢部朋載(下条小)②大橋歩翔(七谷小)③近藤誠也(加茂南小)▼小学生女子の部①富樫はるの(加茂南小)②番場美優(七谷小)③富樫さつき(加茂南小)
- ▼中高一般女子の部①古川空美(新潟中央高)②目黒美紗樹(加茂スキークラブ)③古川七海(若宮中)▼高校生男子の部①蝶名林雄太(新津高)②中野智弥(加茂農林高)③中村優太(加茂農林高)▼青年の部(〜29歳)①目黒広大(桑田屋スポーツ)▼成年一部(〜39歳)①茂野雅人(トヨタ自動車)②木村寛次(シダチヨー建設)▼成年二部(〜49歳)①近藤敏之(亀田製菓株)②川口清(株三越環境ビル管理)③山崎博史(葵中教)▼成年三部(〜59歳)①青柳和衛(青柳五光園)②諸橋利彦(加茂スキーク)③茂野孝(株長沢)
- ▼壮年一部(〜69歳)①松原直人(桑田屋スポーツ)②梅田茂(桑田屋ス

- ポーツ)③佐藤一夫(加茂スキーク)▼壮年二部(70歳〜)①小柳仁策(太平堂)②佐野治夫(加茂スキーク)③阿部勝男(加茂スキーク)

【大回転】

- ▼小学生男子低学年の部①吉田朝大(石川小)②北見優行(加茂南小)③矢部彰規(下条小)▼同高学年の部①矢部朋載②近藤誠也③大橋歩翔▼小学生女子低学年の部①高橋果桜子(下条小)▼同高学年の部①富樫はるの②番場美優③西潟玲音(七谷小)▼中高一般女子の部①古川空美②目黒美紗樹③中野彩圭(加茂スキーク)▼高校生男子の部①中野智弥②蝶名林雄太③中村優太▼青年の部①目黒広大▼成年一部①茂野雅人②木村寛次▼成年二部①近藤敏之②小柳毅(株長沢)③帆苅忠(株アズサ)▼成年三部①青柳和衛②諸橋利彦③茂野孝▼壮年一部①松原直人②梅田茂③佐藤一夫▼壮年二部①小柳仁策②阿部勝男③佐野治夫

【滑降】

- ▼一部(〜39歳)①茂野雅人②目黒広大③木村寛次▼二部(40歳〜)①青柳和衛②諸橋利彦③近藤敏之 最優秀選手賞 矢部朋載(下条小)、松原直人(桑田屋スポーツ)

加茂市職員の給与などのあらまし

毎年一回お知らせしている職員の給与は、効率的な市政が行われているかどうかの判断基準の一つにさせていただき、これからもいっそうご協力が得られるようにということが目的です。

1 人件費の状況（普通会計決算）

区 分	住民基本台帳人口 (年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 (B/A)	《参考》 23年度の人件費率
24年度	25年3月31日 29,858人	千円 12,079,996	千円 76,424	千円 2,157,553	17.9%	17.6%

(注) 人件費には、特別職に支給される給料、報酬等を含みます。

2 職員給与費の状況（普通会計決算）

区 分	職員数 A	給 与 費				1人当たりの給与費 (B/A)
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
24年度	225人	843,601千円	86,591千円	305,816千円	1,236,008千円	5,493千円

(注) 1. 職員手当には、退職手当を含みません。
2. 職員数は24年4月1日の人数です。

3 職員の平均給料月額および平均年齢の状況（25年4月1日現在）

区 分	一 般 行 政 職		技 能 労 務 職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
加 茂 市	321,503円	42.7歳	305,474円	47.5歳
新 潟 県	334,160円	42.8歳	356,128円	50.2歳
国	減額前	43.1歳	286,850円	49.9歳
	減額後		272,119円	

4 職員の初任給の状況（25年4月1日現在）

区 分		市	新 潟 県	国	
		初 任 給	初 任 給	初 任 給	
				減 額 前	減 額 後
一般行政職	大学卒	172,200円	178,800円	172,200円	163,987円
	高校卒	140,100円	144,500円	140,100円	133,418円
技能労務職	高校卒	137,200円	141,900円	-	-

5 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（25年4月1日現在）

区 分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	256,686円	303,052円	338,553円
	高校卒	-	-	309,360円
技能労務職	高校卒	-	-	286,000円

6 特別職の報酬等の状況（25年4月1日現在）

区 分	給 料 月 額	期 末 手 当	区 分	報 酬 月 額	期 末 手 当
市 長 副市長	812,300円 622,200円	6月期 1.4月分 12月期 1.55月分 計 2.95月分	議 長 副議長 議 員	375,900円 311,100円 293,100円	6月期 1.4月分 12月期 1.55月分 計 2.95月分

7 一般行政職の級別職員数の状況（25年4月1日現在）

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
標準的な 職務内容	主事補・技師補 主事・技師	主 事 技 師	副参事・係長 主任・主査	課長補佐 副参事 係長・主任	課 長 事 参 課長補佐	課 長 参 事	
職 員 数	7人	13人	93人	11人	12人	21人	157人
構 成 比	4.5%	8.3%	59.2%	7.0%	7.6%	13.4%	100.0%

(注) 1. 加茂市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
2. 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。
3. 一般行政職には、水道事業職員、税務職員、看護師・保健師職、福祉職などを含みません。

8 職員手当の状況（25年4月1日現在）

期末・勤勉手当	退職手当				
	(支給率)	自己都合	勸奨・定年	定年前早期退職特例措置	2%~20%加算
期末手当	勤続20年	23.03月分	28.7875月分		
6月期 1.225月分	勤続25年	32.83月分	38.955月分		
12月期 1.375月分	勤続35年	46.55月分	55.86月分	その他の加算措置	制度なし
計 2.6月分	最高限度額	55.86月分	55.86月分	1人当たり平均支給額	24,270千円

- (注) 1. 職制上の段階、職務の級などによる加算措置が市・国ともにあります。
2. 退職手当の1人当たりの平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

特殊勤務手当 (24年度)	区分	全職種	時間外勤務手当	23年度	支給総額	58,927千円
	職員全体に占める手当 支給職員の割合	31.7%			職員1人当たり 支給年額	221千円
	支給対象職員1人当たり 平均支給年額	19,608円	24年度	支給総額	36,607千円	
	手当の種類(手当数)	14		職員1人当たり 支給年額	118千円	

(25年4月1日現在)

区分	内 容	国の制度との異同
扶養手当	配偶者は13,000円、配偶者以外の扶養親族6,500円（配偶者のいない職員の場合は扶養親族のうち1人は11,000円）満16歳年度初めから満22歳年度末までの間にある子について、1人につき5,000円を加算。	同
住居手当	借家は月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に対し、負担している家賃の額に応じて最高27,000円（家賃の額が55,000円以上の場合）まで支給する。	同
通勤手当	交通機関（バス・電車）利用者は、負担している運賃の額に応じて最高55,000円まで支給する（定期券の場合は通用期間ごとに支給）。 交通用具（自動車等）利用者は片道の通勤距離に応じて2,000円から最高24,500円まで支給する。	同

9 部門別職員数の状況（各年4月1日現在）

区 分	部 門	職 員 数				
		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
一 般 行 政 部 門	議 会	3	4	4	4	4
	総務企画	44	47	45	46	44
	税 務	14	14	13	15	15
	民 生	61	58	56	52	51
	衛 生	13	12	12	12	12
	労 働	2	1	1	1	1
	農林水産	12	11	12	12	11
	商 工	7	7	7	7	7
	土 木	25	22	18	18	19
	小 計	181	176	168	167	164
特 別 行 政 部 門	教 育	62	57	60	59	58
	小 計	62	57	60	59	58
普通会計計		243	233	228	226	222
公 営 企 業 等 会 計 部 門	水 道	13	11	10	10	10
	下 水 道	11	10	10	9	7
	そ の 他	20	19	20	21	21
	小 計	44	40	40	40	38
合 計		287	273	268	266	260

(注)職員数は一般職に属する職員数で教育長も含まれます。

加茂の学塾師匠たち(三)

遠藤箕園きえん

遠藤箕園(通称喜兵衛)は、因習・慣行にとらわれない行動で知られ、「北越の奇男子」と呼ばれた。父は加茂社(青海神社)の社人有本家の次男直明で、上条村の遠藤氏を継ぎ、江戸に出て旗本管谷家に仕えていた文化十四年(一八〇四)に箕園は生まれた。父の

帰村で上条村に帰った箕園だが、まもなく管谷氏を頼って江戸に出、文武修行に志した。風采・行動も目立ったようで、騎馬術の師匠戸田氏に家従として仕えた。親族から帰郷するよう請われ、天保四年(一八三三)に家督を相続した。家計は傾いていたが、それを意に介さず、私塾を開いて近郷の子どもたちに教えた。敬神思想を深め、毎朝の水浴すいよくけつさい潔斎を欠か

さなかつたという。

強者を抑えて小民のためを図ることを信念とし、村人から頼りにされた。凶作だった慶応元年(一八六五)には、富者に迫って安米せま施与を実施させ、翌年にはその元金を出資者に返還して、人々を驚かせた。

維新政府の支配が始まった明治元年(一八六八)八月、八幡神社八幡神社に同行して三条町役所に出、同社が社内社であるなどの由緒等を記した願書の作成に力を発揮した。

明治二年加茂町に設立された民生局の学校「蒙養舎」に加茂から二人が入塾しているが、その一人が長子喜一郎である。時に十六歳。義務教育開始に先立つ新しい学びの動きに、子弟を応じさせているところに、箕園の性格が表れているようだ。

自ら企図した上条村から下田郷への山道開き工事が始まった明治十九年(一八八六)八月、七十歳で没した。享年七十三。

(溝口敏磨)

加茂の風土記



若宮町の双壁寺にある遠藤箕園の墓碑

社会福祉費寄付金

- ▼本量寺寒行会から 八万二千五百三十四円
- ▼須田ひまわり女性会・須田小地区更生保護女性会から 三万九千八百二十七円

おこねとく

人口のうごき

2月1日現在
 世帯 10,289 (+25)
 人口 29,624 (-24)
 男 14,316 (-17)
 女 15,308 (-7)
 ()内は前月比
 (1月異動分)
 出生 16 (男2女14)
 死亡 35 (男17女18)
 転出 32 転入 27